

99-324

問題文

病院における医療チームには、診療科ごとのチームのほかに、栄養サポートチーム、感染制御チーム、褥瘡対策チームなどの活動範囲が複数の診療科にわたる機能別のチームがある。

問324

チーム医療における薬剤師の行為に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 感染制御チームの一員として、医療スタッフに対し、抗菌薬の適正使用について教育を行った。
2. 褥瘡対策チームの一員として、外用薬の選択及び塗布方法について患者に説明した。
3. 栄養サポートチームにおいて、経口による栄養摂取が可能な患者に高エネルギー投与が必要と考え、TPN(Total Parenteral Nutrition)を提案した。
4. がん化学療法チームにおいて、イリノテカンによる遅延性下痢が発現した患者に対し、半夏瀉心湯の使用を提案した。
5. 緩和医療チームにおいて、がん性疼痛を訴えた患者に対し、モルヒネが投与開始となったので、予防的な緩下剤の使用を提案した。

問325

医療チームに関する説明について、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. チームの治療方針は、チームの構成員が個別に設定した目標に基づいて決定する。
2. プライバシー保護の観点から、職能として知り得た患者情報は、できるだけ共有しない。
3. 薬剤が投与されていない患者についても、薬剤師がチームに関わる意義がある。
4. 病院の診療科が少ない場合には、機能別の医療チームを構成する必要性が低い。
5. チームの構成員に、患者や家族を含めることも必要である。

解答

問324：3問325：3, 5

解説

問324

選択肢 1,2,4,5 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

経口による栄養摂取が可能な患者には、できるだけ経口での栄養摂取を行うよう提案すべきであると考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

以上より、正解は 3 です。

問325

選択肢 1 ですが

チームの治療方針は、患者中心のもとで設定した目標に基づき共有します。構成員が個別に設定した目標に基づき決定するわけではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

職能として知り得た患者情報をチーム間で共有することによってよりよい治療を目指します。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。

感染防止、衛生的観点などから、薬剤師がチームに関わる意義があるといえます。

選択肢 4 ですが

診療科が少なくとも機能別のチームを組むことにより、患者に合わせた安全な医療を効率よく提供することが

期待されます。必要性が低いということはいえないと考えられます。よって、選択肢 4 は誤りと考えられます。

選択肢 5 は、その通りの記述です。

以上より、正解は 3,5 です。